



学校だより

子供の「やる気」を育てます

11月号 令和6年10月31日
西東京市立保谷第一小学校
校長 原 之 雄
〒202-0004 西東京市下保谷1-4-4
TEL042-422-4513 FAX042-424-7117

<http://www.nishitokyoed.jp/~houya/>

email ehouya1@nishitokyoed.jp

保谷第一小
ホームページ
QRコード



「ふるさと探究学習」を通して 育つ児童の姿とは

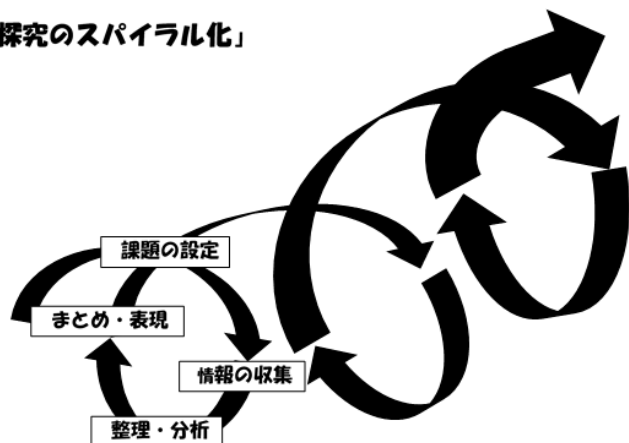
研究主任

今年度の本校の研究は、研究主題を「主体的に学び、問題解決に挑む児童の育成」とし、「～ふるさと探究学習を通して～」という副題を設けています。今年度からコミュニティスクールとして、地域の方々との関わりや、地域の公共施設やお店、地域の文化などにさらに児童が触れていく機会が多くなって参ります。そのことから、研究推進委員会では、昨年度から「さらに地域について知っていこう」「児童と地域の関わりを増やしていこう」という想いをもち、低学年は生活科、中高学年は総合的な学習の時間の「単元開発」をしていくことを研究の軸とすることとしました。

「自分たちが暮らす地域について、児童自ら問題を見付け、地域教材に触れることで、主体的に学ぼうとする姿勢を育むことができるのではないか」という研究仮説を立て、以下のように「目指す児童像」を設定しました。

- | | | |
|------|--|-------------|
| <低> | 地域の様々な人や場所との出会いを楽しむ児童 | 【出会う・知る】 |
| <中> | 地域を学びの場としてとらえ、様々な角度から主体的に学ぶ児童 | 【広げる・深める】 |
| <高> | 地域の一人として地域をよりよくするために主体的に取り組む児童 | 【自覚する・発信する】 |
| <全体> | 「 <u>地域の人、もの、ことに関わる探究的な学習に主体的に取り組む児童</u> 」 | |

「探究のスパイラル化」



日常生活や社会に目を向け、児童自らが課題を設定する。

探究の過程を経由する。
①課題の設定 ②情報の収集
③整理・分析 ④まとめ・表現

自らの考えや課題が新たに更新され、探究の過程が繰り返される。

また、左図にあるように、「探究」をスパイラルのように繰り返し、児童自ら学習を【課題の設定】⇒【情報の収集】⇒【整理・分析】⇒【まとめ・表現】と進めることで、主体的な学びを深めていきます。

9月下旬、第1回目の研究授業を5年生2クラスで行いました。小单元名を「『食』のみりよくをPRする方法を考えよう」とし、「お米の学校」での体験や、地域の「米穀店」との関係から、「食」という観点で地域に目を向けました。

給食のお米も届けてくださっている「ひらまつ米店」店主、平松さんのご協力のもと、「アドミス（あどまいす）タイム」としてご助言をいただきました。

チームに分かれ、PR方法を考える



特別講師 平松さんのご助言



タブレットを使った情報共有

